

帯広川伏古子どもの水辺協

大人が環境守る手本を 自然観察支援学ぶ講演

帯広川伏古地区子どもの水辺協議会（関川三男会長）の特別講演会が4月23日、市内の西十号会館で開かれた。

会員25人が参加。同会の澤田元副会長が



川の自然観察について講演する澤田副会長

「川の自然観察支援」と題して講演し、「川の水の汚れは、そこに生息する水生生物を調べることで予想できる」と説明。また、化学薬品を使って川の水質を分析するパックテストという方法を使うことで、より正確な結果が得られる一とした。

澤田副会長は「子どもたちが正しく自然と向き合うためには、まず大人が環境保全の手本を示すことが大事」と語った。

（小縣大輝）